工 程 管 理

１　実施工程表の提出について

（１）実施工程表は工事の進行を確認するため、請負者が工事着手前に第１回目を、その後は毎月初め（当初請負金額４，５００万円未満は２ヶ月に１回）に提出するものとする。

　なお、当初請負額１，０００万円未満の工事の実施工程表については、第２回目から省略するものとする。

（２）これ以外の詳しい様式にて管理するときは、その様式を提出して良い。

２　記入要領

（１）工種、種別欄には工程管理上の要素が少なく、かつ工程を理解する上で支障のないものは記入しなくて良い。

（２）所要日数欄には所要の実作業日数を記入する。

（３）工程の上段には予定数量を、下段には実績数量と出来高パーセントを（　）書で記入する。

１，０００

（４）予定数量を変えるときは~~２，０００~~のように前回の予定を線引きし上に新計画を記入する。

（５）変更のあったときはその時点で変更数量により予定を組み替え提出する。

【工事出来高報告表】

４，０００

（１）予定金額工程を変えるときは~~３，０００~~のように前回の予定を線引きし、その上に新計画を記入する。

（２）実施金額工程は実施工程表提出時点の出来高を記入する。

（３）変更のあったときはその時点で変更額により予定金額工程表及び実施金額工程の累計パーセントを訂正し提出する。

実施工程表・工事出来高報告表　記入例 1

様式施－1（仕第3-1-1-2条関係）

工務課長		総括副参事		監督員	

工事名	河川改修工事	工期	年 月 日 ～ 年 月 日	受注者	岡山建設
工事番号	1－6	契約 変更年月日	契約 年 月 日　変更 年 月 日	現場代理人	岡山 太郎
（路線・河川名） 工事場所	一級河川〇〇川 岡山市首部	金額	請負金額 ¥50,000,000　変更請負金額	主任(監理) 技術者	岡山 太郎

実 施 工 程 表

第 3 回　　年　月　日
第 2 回　　年　月　日
当　初　　年　月　日

工種	種別	数量	所要日数	月別（　）は％	摘要
準備工		1式	20	1式 (100)	
土工	掘削	6,000m3	60	500 1400 ~~1400~~ 1700 1500 1000 / 600 (10) 1200 (30)	
	岩掘削	500m3	25	200 ~~100~~ 120 ~~200~~ 230 / 150 (30)	
擁壁工	擁壁コンクリート	2,000m3	20	1000 ~~500~~ 700 500 / 800 (40)	
	積ブロック	500m2	40	120 ~~190~~ 200 ~~190~~ 200 / 100 (20)	
排水工	U字側溝 U4-B300	500m	40	50 ~~200~~ 250 50 200 / 0 (0)	
	角フリューム 呼称 300	300m	25	180 200	
後片付		1式	20	1式	

工事出来高報告表

（千円）

予定金額工程	500	8,000	12,500 ~~12,000~~	8,200 ~~8,000~~	10,200 ~~10,000~~	7,000	4,000	500					
実施金額工程	600 (1)	7,000 (15)	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)	

（　　）は累計％

＜実施工程表・工事出来高報告表の提出について＞

（1）実施工程表・工事出来高報告表は工事の進行を確認するため、受注者が工事着手前に当初（様式契－1）を、その後は毎月初め（当初請負金額4,500万円未満は2カ月に1回）に当該様式（様式施－1）で提出するものとする。なお、当初請負額1,000万円未満の工事の実施工程表については、工事着手後の提出は省略するものとする。

（2）これ以外の詳しい様式にて管理するときは、その様式を提出してよい。

実施工程表・工事出来高報告表　記入例 2

様式施－1(仕第3-1-1-2条関係)

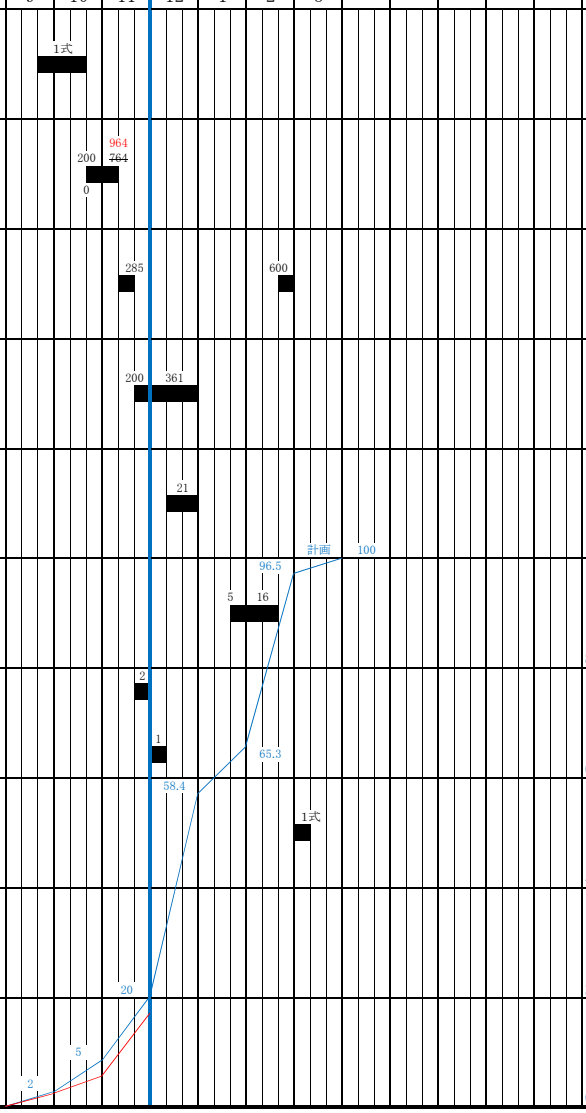
工務課長		総括副参事		監督員	

工事名		工期	～	受注者	
工事番号		契約 変更年月日	契約　　変更	現場代理人	
(路線・河川名) 工事場所		金額	請負金額　　変更請負金額 ¥29,820,000	主任(監理) 技術者	

実施工程表

第 3 回　　年　月　日
第 2 回　　年　月　日
当初　　年　月　日

工種	種別	数量	所要日数	摘要
準備工		1式	30	
切土工	法面整形	964m2	20	
緑化工	植生基材吹付工 t＝3cm	885m2	20	
アンカー工	足場工	561空m3	40	
アンカー工	SFL-3 20.7m/本	21本 (401.1m)	20	
受圧板工	フィットフレーム FIT25W-480	21基	30	
技術管理	調査ボーリング φ66 基本試験 φ86	2箇所 1箇所	10 10	
後片付		1式		



工事出来高報告表

(千円)

予定金額工程	605	932	4,627	11,275	2,063	9,282	1,036						29,820
実施金額工程	605 (2)	747 (4.5)	648 (14.0)	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)	

(　　)は累計%

＜実施工程表・工事出来高報告表の提出について＞

（1）実施工程表・工事出来高報告表は工事の進行を確認するため、受注者が工事着手前に当初（様式契－1）を、その後は毎月初め（当初請負金額4,500万円未満は2カ月に1回）に当該様式（様式施－1）で提出するものとする。なお、当初請負額1,000万円未満の工事の実施工程表については、工事着手後の提出は省略するものとする。

（2）これ以外の詳しい様式にて管理するときは、その様式を提出してよい。

実施工程表・工事出来高報告表　記入例　3

様式施－1（仕第3-1-1-2条関係）

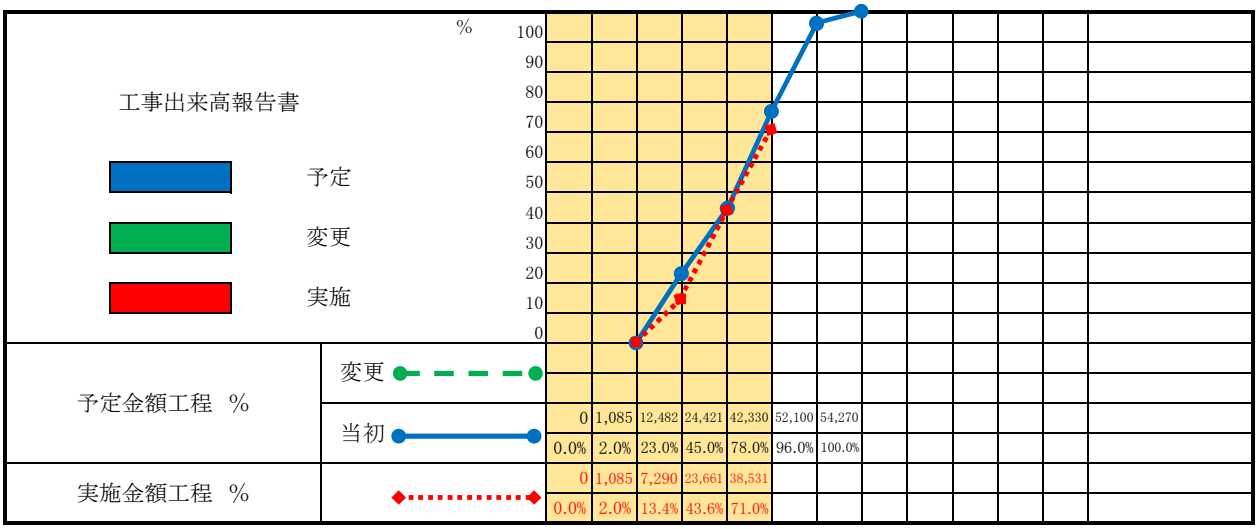
工務課長		総括副参事		監督員	

工事名		工期	～	受注者	
工事番号		契約 変更年月日	契約　　変更	現場代理人	
（路線・河川名） 工事場所		金額	請負金額　　変更請負金額 ¥54,270,300	主任（監理） 技術者	

実施工程表

第 5 回　　年　月　日
第 4 回　　年　月　日
第 3 回　　年　月　日
第 2 回　　年　月　日
当　初　　年　月　日

工種	種別	数量	所要日数	月別（　）は％	摘要
準備工	伐採・地下埋設調査・電線管理者協議・伐採	一式	40 日		
仮設工	特殊部・矢板・覆工板	4箇所	4 日	(2箇所) (50.0) (1箇所) (25.0) (1箇所) (25.0) (25.0)	
プレキャストボックス工	掘削・据付・埋戻し・仮復旧	4箇所	8 日	(1箇所) (25.0) (2箇所) (50.0) (1箇所) (25.0)	
分岐桝(1)(2)ハンドホール工	掘削・土留・配管・埋め戻し・仮復旧	10箇所	4 日	(6基) (60) (4基) (40)	
管路工	掘削・土留・配管・埋め戻し・仮復旧	146m	85 日	(16m) (35m) (95m) (65) (11) (24.0)	
照明基礎工	H-300・H-250	6基	10 日	(3基) (50) (3基) (50)	
付帯工事	路面排水・既設構造物復旧工事	146m	12 日	(146m) (100)	
舗装工	歩道舗装工	274m2	2 日	(274m2) (100)	
	排水性舗装工	700m2	6 日	(700m2) (100)	



予定金額工程　％	変更							
	当初	0	1,085	12,482	24,421	42,330	52,100	54,270
		0.0%	2.0%	23.0%	45.0%	78.0%	96.0%	100.0%
実施金額工程　％		0	1,085	7,290	23,661	38,531		
		0.0%	2.0%	13.4%	43.6%	71.0%		

様式施－1(仕第3-1-1-2条関係)

工務課長		総括副参事		監督員	

工事名		工期	～	受注者	
工事番号		契約 変更年月日	契約　　変更	現場代理人	
(路線・河川名) 工事場所		金額	請負金額　　変更請負金額	主任(監理) 技術者	

実施工程表

第　回　　年　月　日
第　回　　年　月　日
当　初　　年　月　日

工種	種別	数量	所要日数	月別（　）は％											摘要

工事出来高報告表

(千円)

予定金額工程													
実施金額工程	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)	

(　　)は累計％

＜実施工程表・工事出来高報告表の提出について＞
（1）実施工程表・工事出来高報告表は工事の進行を確認するため、受注者が工事着手前に当初（様式契－1）を、その後は毎月初め（当初請負金額4,500万円未満は2カ月に1回）に当該様式（様式施－1）で提出するものとする。なお、当初請負額1,000万円未満の工事の実施工程表については、工事着手後の提出は省略するものとする。
（2）これ以外の詳しい様式にて管理するときは、その様式を提出してよい。